

令和5年度全国学力学習状況調査の結果

京都市立大原野中学校

4月18日に、3年生58名を対象に実施された「全国学力状況調査」について、結果をまとめました。本調査は、国語、数学、英語の3教科のテストと同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されているものです。結果を通して本校の子ども達の状況で分かることをお伝えします。



総合結果

3教科とも全国平均を大きく上回りました。日々、コツコツ積み重ねてきたことがしっかり学力につながっていることがわかります。無回答率も全国平均と比べても少なく、応用問題などにもしっかりと取り組み、最後まであきらめなくて解こうという姿勢が育まれつつあります。

国語科より

＜成果＞☆「書くこと」において丁寧に作文する習慣が定着している。

☆「読むこと」において、記述式問題の無回答者が少なく、よく書けている。文章を読んで理解したことを知識や経験と結びつけて自分の考えを書く問題もよくできていた。

＜課題＞★文脈に即した漢字を書くこと。

★具体と抽象など、情報と情報の関係を理解すること。

漢字・語彙の習得だけで終わらず、それを活用できるようにしよう！

数学科より

＜成果＞☆計算問題・記述問題共に基礎的な力が発揮できた。

☆「関数」「反比例」における理解や思考力◎

＜課題＞★「自然数」という言葉の意味を明確に理解すること
→普段から慣れ親しんでいる言葉であるが、きちんと理解できているかも一度整理しよう。

「なんとかして解いてみよう！」とチャレンジする力があるので、その気持ちをもってたくさんの問題に挑戦してみよう。自習時間を有効に活用できるよう、工夫しよう！

英語科より

＜成果＞☆「書くこと」が圧倒的に全国平均より上回っている。

→自分の知ってる知識でなんとかして書こう！という姿勢が育っている。

☆「話すこと」においても、上記と同じように自分の知識で伝えることができる。

→学んだことをどのように応用したらよいかという活用の仕方が分かっている。

＜課題＞★「話し手や書き手がもっとも伝えたいこと」を整理して、要点をまとめること。

本文をリテリングしたり、サマライズ（要約）したりする力をつけていこう！